

『熊谷の子どもたちは、これができます!』

4つの裏技 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

3減運動 ブレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

No. 8

平成29年11月28日

学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成

進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子



グローバル化が進む社会で生きる力の育成 ～自分の思いや考えを伝えられる児童に～

熊谷市立別府小学校長 堀越 尊夫

冬休みまではまだ3週間ありますが、今年は冬が駆け足でやってきたように感じます。今のところかぜやインフルエンザ等の流行もなく、子供たちはみんな元気に生活しています。

さて、前号でお知らせしたとおり、去る11月4日(土)に本校で熊谷市教育委員会委嘱の研究発表会が行われました。市内の小中学校の先生方や御来賓、中には大学や神奈川県から来られた先生など、100名を超す方々にご参観いただきました。「外国語の基本的な表現を用いて、思いや考えを伝える児童の育成」を研究テーマに、2年間取り組んできた成果を発表しました。

当日は、全学級で9分間の「Eタイム」を公開し、低学年は英語の歌や絵本、中学年は英語で絵カードやワードブック、地図帳を使ったやりとり、高学年は英語の文字を学習し、ひまわり学級は英語でトランプを使用しました。そして、5年1組が「夢の時間割を作ろう」、6年2組が「一日の生活を紹介しよう」という外国語活動の授業を公開しました。どの学級でも楽しそうに英語を使い、生き生きと活動する姿が見られました。

参観者の先生からは「子供たちも先生も楽しそうに英語でコミュニケーションをとっていて、素晴らしい授業だった。」「日ごろから英語に慣れ親しんでいるのがわかった。」「とても参考になった。」「といったご意見、ご感想を数多くいただきました。また、「PTAの方々の温かいおもてなし、ありがとうございます。」「というコメントもいただきました。PTAの役員さんやおやじの会の皆様には、駐車場への誘導や来校者への接待等で大変お世話になりました。ありがとうございます。」「

今後ますますグローバル化が進展し、文化・経済・政治など人間の諸活動、コミュニケーションが国や地域などの地理的境界、枠組みを越えて大規模に行われるようになり、地域規模で統合、一体化されるようになり、このような時代に主体的に自分らしく生きるためには、自分の思いや考えをしっかりと持ち、それを相互に伝え合う力が必要です。特に、国際的に広く共通語として用いられている英語によるコミュニケーション能力は、これからもっと重要になると思われます。

ただ英語が流暢に話せるだけでは、国際人として通用しません。外国のまねだけで、仮装してはしゃいだり、ケーキを食べてプレゼント交換したり、チョコレートを配ったりしても尊敬されません。まずは母国語である日本語をしっかりと身に付け、日本の伝統や文化をきちんと理解し、それを積極的に発信できるようでないといえませんが、

これからも本校の研究成果を生かし、日本という国や生まれ育った地域を大事にしつつ、みんなで仲良く伸び行く別府小の子供を皆様とともに育ててまいりたいと考えます。



子どもの安全確保のために

日が暮れるのが早くなりました。暗くなると、歩行者や自転車が自動車の運転手から見えづらくなります。また、車や人通りの少ない道では、不審者に遭遇することも心配されます。「よい子の放送」は16時25分です。安全のため「よい子の放送」を家で聞けるようご家庭でもご指導をお願いいたします。また、不審者に遭遇した場合の対応(まず自身の安全を確保する[その場から離れる、防犯ブザーや大声を出す、近くの家へ逃げこむ等][家の人に知らせ、警察に通報してもらう])について、ご家庭で再度確認してください。